

令和3年度
東近江市市民活動支援業務

報 告 書

令和4年3月

特定非営利活動法人 まちづくりネット東近江

業務完了報告

業務名	令和3年度東近江市市民活動支援業務委託
業務場所	滋賀県東近江市
履行期間	着手 令和3年4月1日 完了 令和4年3月31日
業務の目的	市民活動団体の育成と交流を促進し、地域の課題解決を図る市民公益活動を支援する等の中間支援機能の充実を図ることにより、市民と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、活力ある地域社会の実現に寄与することを本業務の目的とする。なお、業務を進めるに当たり、次の点に留意すること。
業務の内容	1) 情報収集及び提供に関する業務 2) 相談及びコンサルティングに関する業務 3) 人材育成及び研修に関する業務 4) 活動資金の調達支援に関する業務 5) 交流促進と協働推進に関する業務 6) その他市民活動の促進に関する自主業務
報告書の構成	第1章 背景・目的 第2章 情報収集及び「提供に関する業務 第3章 相談及びコンサルティングに関する業務 第4章 人材育成及び研修に関する業務 第5章 活動資金の調達支援に関する業務 第6章 交流促進と協働推進に関する業務 第7章 その他市民活動の促進に関する自主業務 第8章 今後の展望
成果品構成	報告書 1部
発注者	東近江市総務部まちづくり協働課 〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

TEL : (0748) 24-5623 FAX : (0748) 24-0855

請負者

NPO法人まちづくりネット東近江

〒527-0028

滋賀県東近江市八日市金屋2丁目6-25

TEL : (0748) -56-1277 FAX : (0748) -56-1277

上記業務が完了しましたのでご報告致します。

目次

第1章 背景・目的	6
1-1. 背景	6
1-2. 目的	6
第2章 情報収集及び提供に関する業務	7
2-1. 市内外の市民活動や地域活動等に関する情報の収集及び発信	7
2-2.市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年3回以上、配布は市が協力）	9
2-3. 活動団体のHP制作等の情報公開及び発信の支援	10
2-4. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援	11
第3章 相談及びコンサルティングに関する業務	13
3-1. 窓口や電話による多様な相談への対応	13
3-2. 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介	14
第4章 人材育成及び研修に関する業務	15
4-1. 市民向け市民活動の普及啓発を図る研修会の開催	16
4-2. 資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務）等に関する講座の開催	16
4-3. 未来に向けたまちづくりの担い手育成に関する講座の運営支援	18
4-4. コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催	19
4-5. コミュニティビジネスの事例収集と紹介	20
4-6. 中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講	20
第5章 活動資金の調達支援に関する業務	21
5-1. 各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援	21
5-2. 東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援	21
5-3. 事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及	22
5-4. 「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討	27
5-5. 新たな資金調達制度の調査及び研究	27
5-6. 公益財団法人三方よし基金との連携	28
第6章 交流促進と協働推進に関する業務	28
6-1. 多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催	28
6-2. まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築	28
6-3. 活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート	29
6-4. ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート	33

6-5.	市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、 検討、企画等	33
6-6.	東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援	33
6-7.	小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援	37
6-8.	地域共生社会の実現に向けた各テーマごとの中間支援機能との連携	38
第7章	その他市民活動の促進に関する自主業務	38
7-1.	講演・講座依頼	38
7-2.	まちづくり協議会への支援	39
7-3.	視察受入れ	39
7-4.	東近江たびいち事業	39
7-5.	休眠預金助成金採択事業	40
第8章	評価と課題	42
8-1.	評価と課題	42

第1章 背景・目的

1-1. 背景

(1) 背景

2011年2月に出された、東近江緑の分権改革研究会報告書によると、「日本の縮図とも言える東近江市でも、少子高齢化や地域経済の低迷など様々な課題に直面している。これらの課題に対処するためには、行政が縦割りで個々の課題に取り組むのではなく、市民生活の視点に立って組織横断的に課題に取り組む必要がある。その取り組みの1部として、東近江市においては、食・エネルギー・ケアといった市民生活の視点から見た分野が地域において自立している、持続的発展が可能な共生の仕組みづくりを目指している。そして、食・エネルギー・ケアが地域において自立する社会は、これらの分野に関わるヒト・モノ・カネが地域で循環している社会と言い換えることもできる。」となっている。

このような背景を鑑み、地域課題解決をめざす市民活動の支援を行う。

1-2. 目的

(1) 目的

市民活動団体の育成と交流を促進し、地域の課題解決を図る市民公益活動を支援する等の中間支援機能の充実をはかることにより、市民と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、活力ある地域社会の実現に寄与することを本事業の目的とする。

(2) 基本方針

- ・NPO、ボランティア、まちづくり協議会などが行う市民公益活動を積極的に支援するとともに、市民活動を促進する。
- ・東近江市のまちづくりに関わる市民活動団体・地縁団体、事業者・行政・学校などの多様な主体間の連携・ネットワーク構築のための交流の促進と協働の推進を支援する。
- ・人、モノ、情報など、地域の資源を活用してビジネス手法を用いて地域の課題解決を図る活動（コミュニティビジネス）を支援する。

(3) 各業務内容に応じた目的・事業内容

1. 情報収集・提供に関する業務
2. 相談・コンサルティングに関する業務
3. 人材育成・研修に関する業務

4. 活動資金の調達支援に関する業務
5. 交流促進と協働推進に関する業務
6. その他市民活動の促進に関する自主業務

第2章 情報収集及び提供に関する業務

本章では、市民活動・地域活動に関する様々な情報収集を行い、様々な媒体を利用して情報発信・情報提供を行うとともに、市民活動団体の情報公開に対する支援を行う。

2-1. 市内外の市民活動や地域活動等に関する情報の収集及び発信

市民活動や、地域活動に関する情報を取材し、広報誌、まちづくりネット東近江のホームページや facebook で発信してきた。市役所 1 階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行ったが、今年はコロナウイルスの関係で事業を中止されたところが多く、チラシ等の掲示が例年に比べ少なかった。



市役所 1F 掲示板

また、情報発信ツールとして Twitter、Instagram、YouTube のアカウントを新規で作成し4年目となる今年度は、フォロワーも順調に増加し発信力を増している。5月からの未来を創るプロジェクトが始まったことや、3月末の東近江大花火大会では YouTube 生配信を行なったことなど、その過程で様々な情報発信を試みたので、一気にフォロワーが広がった。



Instagram フォロワー 821 → 1087 Facebook フォロワー 1109 → 1220



Twitter フォロワー 203 → 220 YouTube チャンネル登録者 431 → 557

2-2.市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年3回以上、配布は市が協力）

昨年度から、季刊紙として春、夏、秋、冬の年4回発行。また、滋賀県立大学の授業の一環として、学生と一緒に編集をし、若者の視点を取り入れながら作成を行った。授業は、5月から始まり、作成に携わったのは、No32、No35である。

コンセプトは、東近江市のいいところやいいひといいものを紹介する冊子にしながら、カテゴリをなくして、各号のテーマに合わせて作成を行った。

市内設置店舗：77ヶ所（市内外の事業所及び、公共施設）

表 2-3-1 広報誌の目的

目的 1	若い人が住んでいる地域に興味をもってもらう
目的 2	東近江市で行われている市民活動を知ってもらう

(1) 内容について

編集会議で各号のテーマを作成し、取材先の選定、役割分担を行い、検討をする。

(2) 各月ごとのテーマ

以下の表の通りテーマを決め、編集会議で具体的な取材先を決めていく。

表 2-3-3 テーマの検討

発行月	テーマ
No32	東近江市の公園
No33	まちの中にある暮らしの中でモノを大切に作るヒント
No34	政所茶、遊林会、mais Latino、ファブリカ村
No35	多文化共生

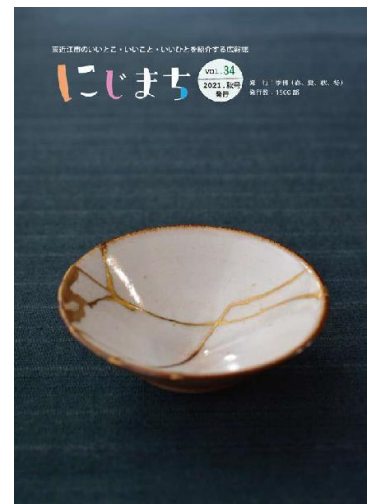
(3) 各号の表紙



No32



No33



No34

2-3. 活動団体のHP制作等の情報公開及び発信の支援

2019年度も、団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。まちづくりネット東近江の公式 SNS も着実にフォロワーが増えてきている。また SNS の作成や HP の作成支援などもおこなった。紙媒体だけでなく、WEBを使った情報発信が見直されている。

以下チラシ作成と団体の情報公開の件数である。

- 1. チラシや冊子作成 25 件
- HPやSNSの更新や作成 10 件

動画制作	7件
Salesforceの導入支援	1件

2. 各HPや facebookなどで紹介した件数

掲載 場所	件 数
まちづくりネット東近江のHP	19件
まちづくりネット東近江のFacebook	64件
まちづくりネット東近江のTwitter	28件
まちづくりネット東近江のInstagram	25件
まちづくりネット東近江のYouTube	公開7,限定9件
	総計 143件(152) (昨年 420件)

2-4. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

(1) パブリックアクセスとは

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することを指す。

また、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム）」にアクセスする行為や制度を指す。

パブリックアクセスは、政治やビジネスに専有されたメディアに多様な市民の意見を反映させる、民主主義の基盤的なシステムであり、先進国でこうした市民放送局が活躍しているが、わが国では法整備がなされていないため先進的な団体等が情報収集し、横の連絡を密にしながら取組み始めているのが現状である。

(2) パブリックアクセスの意義

パブリックアクセスを進める意義としては、情報を市民自身が制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することができる。

また、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることができる。

その他にも、地域の記憶を共有するような「ソーシャルキャピタルの構築」や、「過度の商業主義からの脱却」、「地域の非営利活動の促進」等が可能となり、熟議型民主主義が発展していくと考えられている。

(3) 東近江市でのパブリックアクセス

東近江市では、東近江緑の分権改革研究会の中で「パブリックアクセス」の部会が立ち上がり、その中で東近江市でのパブリックアクセスの実現に向けた検討会が開催され、その後2012年に東近江市パブリックアクセス推進協議会が設立され、東近江市でのパブリ

ックアクセスを具現化する協議が行われている。まちづくりネット東近江は、構成団体の一つであり、事務局を担っている。

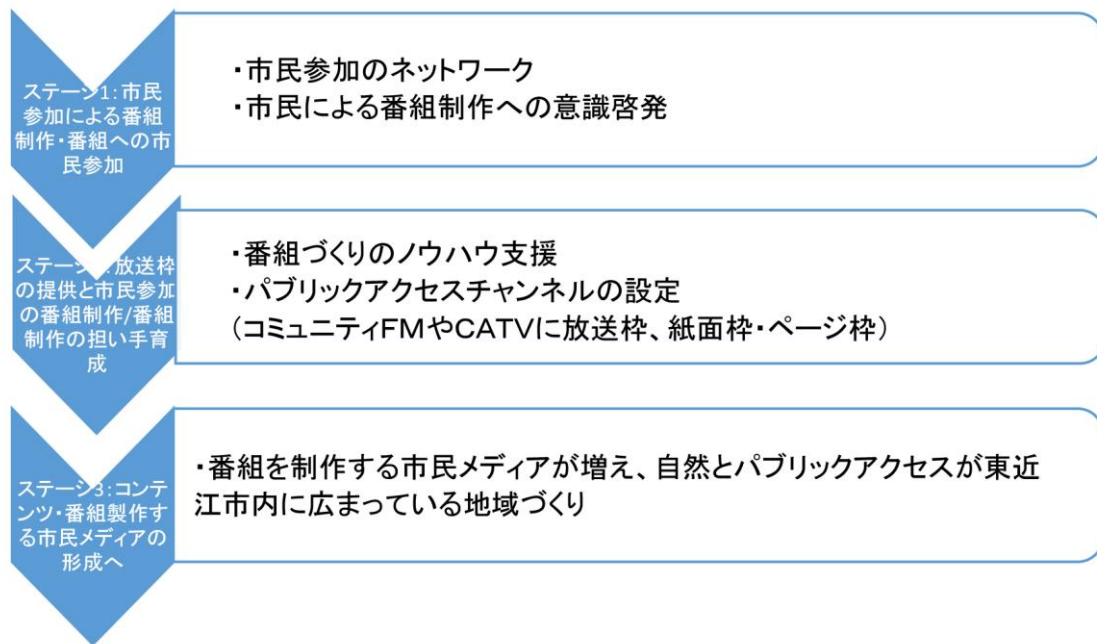


図 2-5-1 パブリックアクセス実現方策

(4) 東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットにて、毎月 1 回、日曜日～土曜日まで市民投稿枠の中で 15 分の番組を制作している。番組名「まちのわ」。今年度は、13 作品の投稿があった。以下、番組に投稿があった作品である。

投稿月	番組名	投稿者
4 月	市辺地区地蔵盆（第一部 東市辺、西市辺、糠塚、野口、三津屋）	市辺地区まちづくり協議会歴史文化部会
5 月	市辺地区地蔵盆（第二部 布施、蛇溝、長谷野、柏、船岡）	市辺地区まちづくり協議会歴史文化部会
6 月	近江鉄道映画のお知らせ	まちづくりネット東近江&なかむら義宣
7 月	東近江市 S I B 事業成果報告 2019	東近江三方よし基金
8 月	東近江市 S I B 事業成果報告 2020	東近江三方よし基金
9 月	夏の思い出花火大会	NPO こもれ日小田莉家
12 月	2021 わがまち協働大賞市民投票	東近江市市民協働推進委員会
1 月	映画「ガチャコン！」制作特報	近江鉄道映画制作委員会（動画編集者 小島秋彦）

2月	お砂糖博士の実験	食育の会「もぐもぐ」
3月	わくわくこらぼ村 2021	NPO 法人まちづくりネット東近江

第3章 相談及びコンサルティングに関する業務

本章では、市民活動・地域活動の実施・参加に関する相談、団体の組織化・運営・法人化等に関する各種の相談と支援を行う。

3-1. 窓口や電話による多様な相談への対応

(1) 窓口・電話による相談への対応について

相談者の内容、対応したこと等をデータベースのセールスフォースに入れて、スタッフ全員で共有し、次に役立つように記録を残している。さらに、記録を集計してまちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとして活用している。また、県内の中間支援団体の相談件数の把握のために、相談内容と相談者の所属を統一の項目とした。

【実績】 総相談件数 144件（昨年152件）

相談総数時間 180、5時間（昨年179、5時間）

来所者 2,276人

相談件数は、昨年度より減少したが、相談時間が増え、1件の相談にかかる時間が増えた。内容も専門的な内容が多く、会計や労務など個別の対応に追われるものや、オンラインの支援もそのようなものが多かった。今後も、専門的なものが増えてくると思うので、スタッフのスキルの構築につなげていきたい。

〈表1〉は項目の主な相談内容である。

相談案件

大分類	小分類	件数
1 法人の設立	設立の手続きと流れなど	4件
2 法人の解散	法人の解散相談	0件
3 コーディネート	紹介やマッチングなど	11件

4	協働		2件
5	会計・財務相談	会計・財務の 具体的な内容など	13件
6	雇用・労務		2件
7	事業計画	組織・事業運営、 「協働」に関する事など	11件
8	資金調達	助成金、活動支援金など	25件
9	情報発信	広報・PR、情報発信 など	52件
10	組織運営	定款変更・役員変更など	23件
11	その他	上記分類に 当てはまらないもの	1件
(総計)			144件

主な相談者-

分類	件数
個人（個人事業主、企業）	30件
NPO 法人	11件
任意団体	36件
社会貢献団体	5件
財団法人・社団法人	7件
企業	4件
公的機関	13件
社会福祉法人・学校法人	6件
地縁団体等	29件
その他	3件
(総計)	144件

3-2. 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介

(1) 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談された案件について専門的な支援が必要となった為、専門家及び専門機関へコーディネートを行うことが趣旨で専門家を派遣した。

① 団体運営アドバイザーの派遣

対象団体	平和堂アピア マネージャー 中島祐子
連携先	紙芝居てんとうむし、薬膳アドバイザー
内容	セントラルコートなどのイベントなどを考えてもらえる方。 紙芝居てんとうむし、薬膳アドバイザーを紹介した。

②新規講座の講師派遣

対象団体	御園まちづくり協議会
連携先	ナチュラルメイク教室 Ohana
内容	新しく、楽しく参加できる講座を検討し、以前につながりのあったメイク、ファッションの講師の派遣を行う。

③デザイナー派遣

対象団体	平田地区まちづくり協議会
連携先	溝江あいみ
内容	水鉄砲合戦のスタッフのTシャツのデザインできる人を紹介派遣した。

④大学教授派遣

対象団体	平田地区まちづくり協議会
連携先	滋賀県立大学 鶴飼教授
内容	自治会支援

第4章 人材育成及び研修に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を担える人材の育成と団体運営や活動の活性化に資する研修や講座の運営を行う。

4-1. 市民向け市民活動の普及啓発を図る研修会の開催

パソコンスマホ相談会

目的：団体活動をしていく中でパソコンを使って文書作成や表計算、グラフ作成やイラストレーターをチラシ作成に役立てるなど、困っている方の相談を受けながら対応する。

日時：2021年4月14日	2名
5月28日	4名
6月22日	2名
7月21日	3名
9月3日	3名
10月5日	3名
12月9日	3名
2022年2月16日	2名
3月16日	3名
総数	25名

参加費：1,000円

参加者：総数25名

講師：まちづくりネット東近江スタッフ

4-2. 資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務）等に関する講座の開催

写真講座、薬膳などを開催した。それぞれの講座に関しては、以下の通りである。

(1) まちづくり協議会への出前講座

<目的> コロナ禍により、人と集まることが出来なくなったことで、オンラインの活用を考えられ、ライン講座やZoomの使い方などを学んで今後活かしたいと考えられ、そのために下記の通り講師としてサポートした。

月	日	活動内容	参加者
5	7	蒲生まち協スマホ入門講座	15
5	13	平田まち協ICT支援講座	6
5	14	蒲生まち協スマホ入門講座	15
5	18	八日市まち協zoom講座	8
5	19	中野まち協スマホでこんなことできる初級講座	20
5	21	蒲生まち協スマホ入門講座	15

6	23	御園まち協スマホ相談会	4
7	7	中野まち協スマホでこんなことできる中級講座	16
7	28	御園まち協スマホ相談会	4
8	25	御園まち協スマホ相談会	6
10	22	平田まち協スマホでこんなことできる初級講座	12
11	1	平田まち協スマホ個別相談会	6

総計 127名

(3) 薬膳茶講座

<目的>何か活動をしたいという相談から講座の支援を行い、今後の活動の方向性を探る為に講座を一緒に行う。

月 日	内 容	参加者数
8月26日	美肌編	16名
8月28日		10名
10月7日	薬膳料理教室 秋の養生編	7名
12月16日	冷え性編	10名
12月18日		18名
2月17日	不眠症	16名
2月19日		12名

参加費：1,000円 参加者：89名（合計）

講 師：込山利志栄さん（養生を学ぶ会）



写真：講座の様子

(4) 助成金・補助金個別相談会の開催について

4月21日の助成金・補助金説明会を開催した。今年度は同時に収録も実施後日YouTubeにて配信をした。

個別相談会は、予約制として以下の助成金・補助金についての申請書の書き方などを伝えた。

<対応助成金・補助金>

- ・東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業
- ・東近江市わくわく活動補助金
- ・東近江市高齢者活動補助金
- ・事業指定寄付制度 にじまちサポーターズ
- ・全国、市内外の助成金・補助金など

<個別相談日>

4月30日(金) 10:00-16:00 なし

場所: まちづくりネット東近江

4-3. 未来に向けたまちづくりの担い手育成に関する講座の運営支援

1. 1、東近江市地域づくり人材育成アクションプランに定めたプロジェクトの支援

1) 保・幼・小・中・高連携の推進、地域教育の充実プロジェクト

①東近江さとやま Nannies の活動と保幼の連携を考える

日時: 2021年10月5日(火) 15:00~17:00

場所: 東近江市役所本館 302 会議室

内容: 環境政策課里山活用推進室と、幼児課、教育委員会の方に集まっていた
き、現状を共有し、連携できるところはないか考える会を行う。

②蒲生地区こども円卓会議の参加

日時: 2022年2月22日(火) 19:00~21:00

場所: 蒲生コミュニティセンター小ホール

内容: 蒲生地区で子どもへの地域教育活動を行っている団体が集まり、各々の活
動の現状と課題を共有し、2022年度各々でできることや協働でできるこ
となどの方向性を探る。

2) 若者の実践の場(サードプレイス)づくりプロジェクト

①市内でフリースペースが多くできている

◎カネイビル…若い人が副業しながら、お店や事業所として活用

◎SATSUKI-RO(さつき楼)…駅から近いということもあり、大学生や高校生が利
用している。

◎だれんち…古民家のリノベーションから、様々な人が参加し、改修を行っている。
改修後は、民泊やカフェなどに活用

◎マミチル.en…子育て中のお母さんを中心に、教室やマルシェの開催を行っている。

◎がりばん楽校~旧岡村邸~…フリースペースの活用として、学校に行きづらい子
どもたちのフリースクールとして活用

2、東近江市地域づくり人材育成アクションプラン推進委員に対する研修等の実施

①東近江市地域づくり人材育成アクションプラン研修会

日時: 2021年11月30日(火) 15:00~17:00

場所：東近江市役所新館 317 委員会室

内容：講演会

「基金の活動から見えてきたこと」

公益財団法人東近江三方よし基金

常務理事兼事務局長 山口美知子

ワークショップ

「地域の取組についてそれぞれの活動を考える」

をグループに分かれて話をする

参加者 30名

4-4. コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催

(1) コミュニティビジネス相談会の概要

目的：・地域のためのビジネスを支援すること。

・地域の活動を更に発展させること。

・今後の活動について助言をもらうことで、さらに発展していく。

対象：東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の採択団体

内容：講師に来ていただき、それぞれが現在、困っていることや課題と感じていることに対して、アドバイスを頂く。SIB（ソーシャルインパクトボンド）の仕組みを使った補助金なので、成果目標が達成できているかも同時に確認を行い、アドバイスをを行う。

講師：鶴飼修氏（滋賀県立大学准教授）

4-3-1 コミュニティビジネス相談会の内容

回数	日程	内容
1回目	7月21日（水） 9:00~12:00	・成果目標の決定 ・事業タイトルの決定 ・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。
2回目	11月2日（火） 13:30~15:30	・前回からの進捗確認 ・活動をしていく中で困っていること
3回目	1月25日（火） 13:30~15:00	・今年度の成果について ・選考会（評価）の発表について ・来年度に向けて

採択団体（2団体）

1) 箕川未来協議会

事業名：箕川の山村観光コンテンツ開発事業

成果目標

- ①聞き書きをおこなって、四季のコンテンツを考える。
- ②有料体験ツアーを2つ実施する。
- ③ホテル開業までのストーリー（コンテンツ、ツアー、活動様子）を記録し、動画を作成する。

2) 梵ジュール里山保全クラブ

事業名：Re 梵大作戦 里山いきいきプロジェクト

成果目標

- ①新ビジネススキームを構築する
- ②里山ガイドツアーを開発する
- ③既存コンテンツ（梵釈寺での座禅・食事・写経）とのコラボレーションを検討し、企画を実施する。

(2) 東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の審査会及び成果審査会の開催支援

今年度、東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の審査会及び成果審査会の審査員を務める。

<審査会>

日時：2021年7月5日（月）18：00～20：00

場所：SATSUKI-RO（さつき楼）

<成果審査会>

日時：2022年3月17日（木）16：00～18：00

場所：まちづくりネット東近江

4-5. コミュニティビジネスの事例収集と紹介

(1) 東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名：箕川未来協議会
コミュニティビジネススタートアップ事業採択後、現場に訪問し有料体験ツアーの考案に参加し、ホテル開業までの構想を共有した。活動の動画を収集した。

4-6. 中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講

5月9日	しがローカルSDGs研究会設立記念フォーラム（オンライン）
5月18日	Salesforce 研修（オンライン）
11月15日	地域おこし協力隊研修参加
11月16日	地域おこし協力隊研修参加

12月14日	地域おこし協力隊研修参加
12月16日	地域おこし協力隊研修参加

第5章 活動資金の調達支援に関する業務

本章では、市民活動・地域活動の資金獲得に関する支援について報告する。

5-1. 各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援

(1) 助成金獲得に向けた個別相談

助成金の相談は実際の申請に向けてこられた方向けに個別相談で対応した。

申請書の書き方や、助成金の報告方法などの支援を行う。

- ・楽楽ひろば
- ・たむたむ畑
- ・東近江さとやま Nannies
- ・もぐもぐの会

5-2. 東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援

(1) 概要

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度で、連携し支援する。

(2) 採択団体

事業名	団体名
赤ちゃんとお別れした方のためのピアサポート事業	さぼてんのはな
瓜生川桜編み機造成事業	瓜生川桜の花路を楽しむ会
景観保存事業	湖辺の郷伊庭景観保存会
小田菊家の煙突 天までとどけ	NPO こもれ日小田菊家
1 さくらがわ土曜の広場 2 ムシキングフェスタ&いきいき農園収穫祭 3 かたりべ食堂 4 桜川駅活性化プロジェクト	夢の館
簡単！おいしい！食育を ～子どもと一緒に自然料理教室～	食育の会 もぐもぐ

(3) 当日までの協力

- ・ 広報宣伝
- ・ 申請書の書き方支援
- ・ 団体の事業内容の広報活動

(4) 審査会について

- ・ 一次募集

日時：2021年6月16日（水）13：15～

場所：東近江市役所新館319会議室

- ・ 二次募集

日時：2021年10月26日（火）17：00～

場所：東近江市役所新館313会議室

(5) 団体への支援

わくわくこらぼ村の団体活動紹介での展示物作成支援

- ・ 相谷の里山を美しくする会

SNSを使った情報発信支援

- ・ さぼてんのはな

チラシ作成

- ・ NPOこもれ日小田蒔家

活動DVD作成支援

- ・ 夢の館

報告書書き方支援

- ・ 食育の会 もぐもぐ
- ・ NPOこもれ日小田蒔家
- ・ さぼてんのはな
- ・ 瓜生川桜の花路を楽しむ会

5-3. 事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及

(1) にじまちサポーターズの今年度の状況

昨年度から今年度までの間にリモートワーク、オンライン会議の活用、ソーシャルディスタンスの考えが日本全土に広がり、感染症対策を取った上でイベントや行事も行われ始めました。このような世の中の動きがある中で本制度のあり方を再度検討し、現代社会に合った「にじまちサポーターズ」を考え、企画した。（変更内容は5-4に明記する）。

今年度は第1次採択団体と第2次採択団体の合計5団体とともに寄付集めを行う事になった。以下のとおりのスケジュールで企画・運営を行った。

(2) 採択団体と寄付額

①採択団体

- ・あいのみ企画室 「近江鉄道映画制作」
- ・コトナリエ実行委員会 「コトナリエ」
- ・びわこジャズ東近江実行委員会 「びわこジャズ東近江 2021」
- ・延命山・桜プロジェクト実行委員会 「延命山・桜プロジェクト実行委員会」
- ・東近江さとやま Nannies 「東近江市の幼児への自然体験活動「里山保育」の提供」

②2021年度 寄付金額

団体名	目標金額	寄付金額	手数料	振込額（手数料差し引き後）
あいのみ企画室	2,000,000 円	2,148,391 円	99,552 円	1,933,552 円
コトナリエ実行委員会	500,000 円	92,590 円	9,259 円	83,331 円
延命山・桜プロジェクト実行委員会	6,000,000 円	1,594,539 円	159,454 円	1,435,085 円

※びわこジャズ東近江実行委員会、東近江さとやま Nannies は 2022 年5月より寄付集め開始予定。

(3) 選考委員会

日時：2021 年 5 月 6 日 18:00~20:00

2021 年 11 月 19 日 18:00~20:00

場所：旧八日市保健センター

内容：にじまちサポーターズの採択団体を決定した。決定にあたっては、選考委員会で応募団体にヒアリングを行った。ヒアリング後、選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。

以下の審査項目で審査する。

- ・事業の目的
- ・事業の計画性
- ・地域への波及効果
- ・寄付制度の理解
- ・実現能力の有無

選考委員：委員長 可児 卓馬（公益財団法人京都地域創造基金）

委員 菊井 千恵子（ファイナンシャルプランナー）

委員 西川 実佐子（認定 NPO 法人しが NPO センター）

委員 野村 正次（あいとうふくしモール運営委員会）

(4) 採択団体の活動内容

採択団体の活動内容を明記する。

1、あいのみ企画室

寄付募集期間：2021年6月14日～8月31日

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し

目標金額：1,200,000円⇒2,000,000円

寄付金額：2,148,391円 個人：202名、団体：31団体（11月19日現在）

活動内容：

- ◎チラシ作成 10,100部
- ◎ポスター作成 210部
- ◎寄付申込フォーム作成
- ◎HPやSNSでの発信
- ◎寄付者の管理及び報告
- ◎寄付者への申込完了、入金完了メール送信
- ◎寄付者からの連絡対応及び映画制作の問合せ対応
- ◎6/19日近江鉄道のイベント参加
- ◎打合せ及び会議に参加
- ◎エキストラ募集の案内（寄付者）
- ◎お礼状の作成（映画試写会のチケットつき）
- ◎お礼状の発送
- ◎11/21～11/23 映画撮影（11/24 知事撮影）
- ◎上映会参加募集チラシ作成
- ◎2022年2月4日 八日市文化芸術会館にて上映会&フォーラム
→YouTube配信(日野駅)に変更した。
- ◎3月 湖東コミセン、八日市コミセンなどで上映会を行った。



今後の活動：

- ◎4月24日(日)にあかね文化ホールにて、寄付者を対象とした上映会を行う。
- ◎今後もコミセンで上映会を行う予定。

2、コトナリエ実行委員会

寄付募集期間：2021年8月3日～11月30日→2022年3月に変更

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し、募金箱（設置型、PayPay）

目標金額：500,000円

寄付金額：92,590円 内 PayPay4,006円（3月31日現在）

出資金：湖東地区まちづくり協議会 300,000円

商工会 200,000円

活動内容：



- ◎チラシ作成 10,000部+4000部
- ◎ポスター作成
- ◎寄付申込フォーム作成
- ◎PayPayの開設
- ◎HPの準備
- ◎8月3日～7日 コトナリエでの募金活動(まん延防止等重点措置のため早期終了)
- ◎「コトナリエ with コトナリエ花火大会」として寄付開始→3月26日にコトナリエとコトナリエ花火を執行予定
- ◎まちづくり協議会、東近江市商工会湖東支部で50万は集まる予定
- ◎招待状は小学6年生、中学3年生
- ◎それぞれのクラスごとに記念バッジのデザインをしてもらい、プレゼントする
- ◎小学校にチラシ配布、ポスター配布
- ◎募金箱を設置した(湖東図書館、フレンドマート湖東、ひばり後援管理事務所、湖東コミュニティセンター、滋賀中央信用金庫厚東支店)

今後の活動：

- ◎3月26日(土)にコトナリエ&花火大会を執行する。(雨天の場合27日(日)に実行する。) イベント内容は、打ち上げ花火10分間、イルミネーション1時間点灯。
- ◎数年前に青年部で購入した、ヘリウムガスと風船があるので、バルーンリリース検討中。
- ◎翌日の27日(日)は朝9時より花火のゴミ拾い。

3、びわこジャズ実行委員会(中止のため来年度に延期)

- 審査日：2021年5月6日(木)
- 採択日：2021年5月11日(火)
- 寄付募集期間：2021年8月16日～
- 資金調達方法：クレジット、銀行振込(湖東信、滋賀銀、ゆうちょ)
- 目標金額：500,000円
- 寄付金額：0円
- 活動内容：
 - ◎2021年8月19日 びわこジャズ2021の中止を発表
 - ⇒来年度に寄付集めを行う。

今後の活動：

- ◎2022年9月24(土)、25(日)に開催する。
- ◎寄付の内容については、再度打合せ、検討する。



1、東近江さとやま Nannies

「東近江市の幼児への自然体験活動「里山保育」の提供」

寄付募集期間：2022年5月1日～

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し

目標金額：300,000円

寄付金額：0円 個人：名、団体：団体（月 日現在）

活動内容：

◎寄付チラシ相談

◎2022年度から本格的に寄付集めを開始する。

2、延命山・桜プロジェクト実行委員会

「延命山桜プロジェクト」

審査日：2021年11月19日（金）

採択日：2021年11月30日（火）

寄付募集期間：2021年11月30日～3月31日（1次計画）

資金調達方法：クレジット、銀行振込（湖東信、滋賀銀、ゆうちょ）、手渡し

目標金額：6,000,000円

寄付金額：1,594,539円 個人：126名、団体：42団体（3月22日現在）

活動内容：

◎チラシ作成

◎寄付申込フォーム作成

◎HP開設

◎3月5日（土）に第一次計画として「桜の苗木植樹」を行った。

・参加人数 100名

・34本の苗木を植えた（エイゲンジ桜、八重桜、ソメイヨシノの四種類）

◎滋賀報知、中日新聞、京都新聞

今後の活動：

◎参加者は半年～1年に一度くらいの頻度で桜の様子をみてもらう。

◎現在、第二次計画検討中。



5-4. 「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討

にじまちサポーターズ検討委員会

コロナ禍の中での本制度のあり方を再度検討し、現代社会に合った「にじまちサポーターズ」を検討した。

(1) 前年度からの変更点

- ・選考会は4月、8月、11月、2月に随時行う。
- ・事業実施期間を各事業に合わせて決定する。
- ・寄付金の上限をなくし、各事業に合わせて決定する。
- ・年間採択件数を5件程度とする。

5-5. 新たな資金調達制度の調査及び研究

1 事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の内容を検討

設立当初から行ってきた、事業指定寄付制度にじまちサポーターズの内容を再検討した。これまで、1年間の採択件数を2～3件とし、採択時期を4月～5月、寄付募集期間を7月～12月としていたが、もう少し、使いやすい制度にするために制度設計を行った。以下の点について制度の見直しを行った。

募集期間：1年間通して

審査会時期（4月、6月、8月、12月、2月）

募集件数：5件（1年間）

寄付金募集期間：団体の活動に応じて期間を設ける。

団体の活動に応じて、寄付集めがしやすい環境を整えた。地域の寄付文化の醸成を今後とも促していきたいと考えている。

5-6. 公益財団法人三方よし基金との連携

3回の理事会に出席

休眠預金活用事業採択団体の成果報告冊子と動画の制作

SIB 成果報告会動画制作

第6章 交流促進と協働推進に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を促進するため、分野を超えた連携と協働推進を支援する。

6-1. 多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催

(1) 地域の活動団体が集まる場をつくり、意見交換を行う。今年度は、地域活動の団体の女性事務局長が集まり、運営や会計の悩みなどを共有しながら、互いの団体でどのようにしているのかを話をする機会をつくる。

日時：2021年9月17日（金）13：30～16：00

場所：Café エコール

日時：2022年1月6日（木）15：00～18：00

場所：まちづくりネット東近江

内容：団体の運営の方法（理事会の開催、監査の方法、決算書の作成、スタッフのこと）
会計について（予算書、決算書、運営する上での経営方法）

参加者：NPO 法人里山保全活動団体遊林会 熊木香

NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 園田由未子

公益財団法人東近江三方よし基金 山口美知子

NPO 法人まちづくりネット東近江 森下瑠美 藤一道

6-2. まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築

(1) 市民活動支援センター意見交換会

滋賀県内の中間支援センターで働くスタッフ間の研修や情報交換の場として開催されている。今年度は、予定が合わず1回しか参加ができなかった。

①第3回市民活動支援センター意見交換会

日時：2022年2月16日（水）13：30～16：00

内容：明石コミュニティ事業団より事例紹介
各地域の活動紹介

(2) 災害支援市民ネットワークしが

①災害支援市民ネットワークしが 2021 年度第 1 回研究会

日時：2021 年 6 月 21 日（月）13:30～16:30

会場：ハッシュタグ大津京

②災害支援市民ネットワークしが 2021 年度第 2 回研究会

日時：2021 年 8 月 26 日（木）13:30～16:30

会場：Zoom（オンライン）

(3) ボランティア推進を考える会（社会福祉協議会）

①ボランティア推進を考える会

日時：2022 年 3 月 9 日（火）13：30～15：30

場所：御園コミセン

内容：ボランティア同士が交流できる場を考える

②通年はもっと回数が多いが、新型コロナウイルス感染予防の為回数が少なかった。

(4) そこら編集委員会

地域の情報冊子「そこら」を作成するための編集委員会。冊子の内容や編集方法まで委員会の中で検討する。今回のテーマは、「休眠預金助成金を活用している事業」

日時：2021 年 11 月 25 日（木）18：30-21：00

会場：八日市図書館

(5) 東近江市市民協働推進委員会

少子高齢化・財政悪化など社会経済情勢の大きな変化や市民ニーズが多様化・複雑化する中、公共的な課題を解決するにはこれまでのような行政サービスだけでは対応が困難である。公共分野に市民が積極的に参加すると共に、市民と行政がそれぞれの特性を生かして相互の理解と信頼の下に、連携・協力して地域課題の解決に取り組む「市民と行政の協働によるまちづくり」が求められている。委員として参加する。

日時：2021 年 6 月 29 日（火）19:00～21:00

2021 年 9 月 6 日（月）19:00～21:00

2021 年 11 月 8 日（月）19:00～21:00

2021 年 2 月 17 日（木）19:00～21:00

会場：東近江市役所

6-3. 活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート

(1) 東近江市市民活動推進交流会

わくわくこらぼ村実行委員会の検討内容

「あつまれ！みんなのこらぼ村～キラキラのいっぽ～」報告

<目的>

- ・団体の活動を通して市民活動を広く市民に知ってもらおう。
- ・活動している団体同士の交流の場となる。

<日時・場所>

日時：2022年3月5日、3月6日（展示ブースは3月1日～3月6日）

場所：旧八日市保健センター

<スケジュール>

- 8月 ・第1回実行委員会
- 9月 ・第2回実行委員会
- 12月 ・第3回実行委員会
 - ・団体募集チラシ配布
- 1月 ・団体募集終了
 - ・第4回実行委員会
 - ・イベントチラシ作成
- 2月 ・イベントチラシ配布
 - ・参加者予約開始
 - ・第5回実行委員会
- 3月 ・わくわくこらぼ村当日

<開催報告>

参加団体数 30団体

チラシ 7,000部（市内小学校、各地区まち協、市内図書館）

わくわくこらぼ村
参加者募集のお知らせ

参加申込みは
こちらから

時間：9:00～15:00
場所：旧八日市保健センター

問合せ先：認定NPO法人まちづくりネット東近江
TEL: FAX 0748-56-1277 MAIL info@shinet.com

3月5日(土) WORKSHOP

- お手紙のリフレッシュ アロマスプレー作り!**
参加費 1,000円 定員 5名
心身療育センター/生活福祉センターで活動しているボランティアが、お手紙とアロマスプレーの作り方を教えます。アロマスプレーの作り方を教えます。お手紙の作り方を教えます。お手紙の作り方を教えます。お手紙の作り方を教えます。
- 自分らしさ 多動なための子づくり体験**
参加費 1,000円 定員 5名
自分らしさを表現するための体験活動を行います。自分らしさを表現するための体験活動を行います。自分らしさを表現するための体験活動を行います。

3月6日(日)

- 工作入門 ソーマネージュを作ろう**
参加費 1,000円 定員 5名
ソーマネージュの作り方を教えます。ソーマネージュの作り方を教えます。ソーマネージュの作り方を教えます。
- 江崎雷御を演じよう!**
参加費 500円 定員 5名
江崎雷御の演劇を体験します。江崎雷御の演劇を体験します。江崎雷御の演劇を体験します。

展示ブース参加団体

- ・各地区まちづくり協議会（平田、希辺、玉緒、御園、緑部、中野、八日中、南部、永瀬町、五徳荘、美濃、湖東、能登川、蒲生）
- ・暮らしの寺子屋
- ・相谷の里山を美しくする会
- ・夢の館
- ・瓜生川集の花道を楽しむ会
- ・さぼてんのはな
- ・湖辺の鯉伊勢魚類保存会
- ・NPO法人英里
- ・まちの相談家よりそい

3月10日(木) からまちづくりネット東近江公式YouTubeチャンネルにて「共に考え、共に創る」わかまち協働大賞の表彰式を配信します。こちらもぜひご覧ください。

<企画>

①ワークショップ

感染対策をしっかり取り、東近江市内で活躍している団体を知ってもらうためのワークショップを行った。ほぼ全てのワークショップが満員となった。

・3月5日のイベント内容

→アロマスプレー作り、ガリ版体験、プチメイク体験、紙芝居とパネルシアター、古民家で薪割り&かまど体験。

・3月6日のイベント内容

→ソーマキューブを作ろう、江州音頭体験、食育みそづくり体験。



②展示ブース

旧八日市保健センターの入口ロビーを使い、市内の様々な団体の展示を行った。今回は、ほとんどの団体が展示での参加となった。



③職場体験

市民活動団体の活動場所で、市民へ活動のアピールとして「普段行っている活動の体験イベント」を行った。



<参加団体>

◎各地区まちづくり協議会（14 地区）、暮らしの寺子屋、相谷の里山を美しくする会、夢の館、瓜生川桜の花路を楽しむ会、さぼてんのはな、湖辺の郷伊庭景観保存会、NPO法人喜里、まちの相談室よりそい、アロマヒーリングサロン mooju、ナチュラルメイク教室 Ohana、紙芝居サークルてんとうむし、NPOこもれ目小田苅家、一般社団法人がもう夢工房、クミノ工房、江州音頭普及愛好会、食育の会「もぐもぐ」

<わくわくこらぼ村参加団体交流会>

3月25日(金)に「わくわくこらぼ村参加団体交流会」を Zoom（オンライン）で行った。わくわくこらぼ村に参加した感想や日頃の活動の中での悩み、来年度に向けてなどを5人毎のグループになり話し合いを行った。



6-4. ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート

- ・映画「ガチャコン！」のエキストラボランティアの希望者のとりまとめを行い、映画製作実行委員会とつなげた。
- ・滋賀県庁の森林政策課から森林に関するボランティア希望者を団体とつないでほしいと依頼があり、蒲生野考現倶楽部とマッチングを行った。
- ・地域の鉄道について研究したいという大学生が、近江鉄道沿線に住んでいる方とつないでほしいと依頼があり、八日市地区まちづくり協議会を通じて地域の方を紹介してもらった。

6-5. 市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、検討、企画等

- (1) 市民活動促進のためのイベントやフォーラムに参加し、今後の企画などの検討のための調査を行った。参加イベントは以下の通りである。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベントやフォーラムの開催が少なかったこともあり、参加件数も少なくなった。

参加件数 2 件

2021年6月26日	DX・スマートシティオンライン講座
2022年2月4日	近江鉄道線活性化フォーラム

6-6. 東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援

- (1) 協働ラウンドテーブルの運営委員会
(1) 協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催
協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員会である。毎月第4火曜日の19:15~21:15に定例の会議を以下の通り行う。

表：協働ラウンドテーブル運営委員会の会議報告

月日(時間)	場所	内容
6月30日(水)	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議の振り返り
8月24日(火)	まちづくりネット東近江事務所	今後のまちのわ会議の進捗

9月22日(水)	まちづくりネット東近江の事務所	愛東まち協、地域人材アクションプランそれぞれのまちのわ会議進捗
10月26日(火)	まちづくりネット東近江事務所	愛東まち協、地域人材アクションプランそれぞれのまちのわ会議進捗
11月16日(火)	まちづくりネット東近江事務所	地域人材まちのわ会議進行について
2月21日(月)	まちづくりネット東近江事務所	協働についてのまちのわ会議について
3月22日(火)	まちづくりネット東近江事務所	協働についてのまちのわ会議の振り返り

(2) まちのわ会議の開催

地域課題を解決へ導くために、課題を共有化する仕組みとして円卓会議がある。ラウンドテーブル運営委員会では、この円卓会議を「まちのわ会議」として以下の通り開催した。

①「コロナでもこんなことできたよ～コロナ禍での地域活動を考えよう～」

<目的>

コロナ禍での新しい地域活動のあり方についての光がみえるよう、地域の取り組み事例から学び、考え、次に一歩踏み出す勇気とヒントを得る場とする。

<日時> 2021年4月23日(金) 19:30~21:00

<場所> 湖東コミセン

<運営>

ファシリテーター：竹内

司会：太田

板書：西川、森下、岩瀬、楠神

カメラ：藤

<着席者>

藤澤彰祐さん、田島宏さん、辰巳はる枝さん、中嶋達也さん

<参加者・閲覧者(再生回数を含む)>

◎当日 参加者：30名

<当日チラシ・板書一部>

司会：岩瀬

板書：村田・太田・遠藤、岩瀬、伴、八木

カメラ：藤

<着席者>

- ・綾牧生、大庭美香（ぐるりの家）
- ・園田由未子（東近江市愛東・湖東地域新規就農促進協議会（通称 なこーど会議））
- ・山梶瑞穂永源寺図書館長（そこら）
- ・杉本恵（WorldTour2021 ひがしおうみ国際フェスティバル実行委員会）
- ・モリコー二直美（東近江さとやま Nannies）

◎当日 参加者：46名

<当日写真・板書一部>

NPO法人愛のまちエコ倶楽部

・持続可能な社会を目指して～園田さん
非農家が農業に携わりたいと思ってもハードルが高い
↓
「なこーど」農家をリタイアする人となれる

Q 支援してほしいことは？
A 新規就農の方が地域に入ってから受け入れてもらえるような事へのサポート。

↓

つながるには時間かかる。
情報収集 TAや市役所にて ⇒ 交差点
NPO-77的な事 協働 モデルとして 東近江市に広げたい。

CS CamScanner でスキャン



③「10年後の東近江市に向けて～協働の解体新書～」

<目的>

協働を知らない人や、協働を知ってほしい人に市内で行われている活動事例から協働をイメージしてもらい、10年後の本市の協働によるまちづくりの方向性を探る。

<日時> 2022年3月15日（火）19：00～21：00

<場所> 市役所新館 313～315

<運営>

ファシリテーター：伴

司会：伴

板書：森下

カメラ：八木

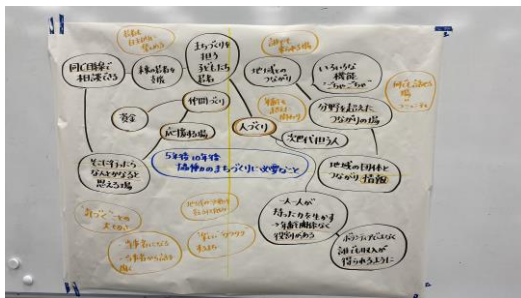
<着席者>

- ・井上克己（NPO法人喜里）

- ・ 富田由美子（五個荘まち協（コミセン）・協働推進委員）
- ・ 藤一道（まちづくりネット東近江・協働推進委員）
- ・ 前川真司（株式会社みんなの奥永源寺）
- ・ 楠神渉（NPO法人加楽）

◎当日 参加者：52名

<当日写真・板書一部>



6-7. 小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援

小規模多機能自治ネットワーク会議近畿ブロック会議がZOOMで行なわれるため、各地をつなぐオンライン支援と、当団体から『東近江市愛東地区における地域活動について』の事例報告を行った。

日時：2022年2月22日（火）

会場：Zoom

参加者 32名

スケジュール

13:30～ 開会・あいさつ（東近江市まちづくり協働課長）

13:35～ 趣旨説明

13:40～ 話題提供①『朝来市内自治協議会のまちづくり計画改訂について』
兵庫県朝来市まちづくり協働部市民協働課

13:55～ 話題提供②『地域運営組織の立ち上げに向けた取組みについて』
和歌山県橋本市総合政策部政策企画課

14:10～ 話題提供③『東近江市愛東地区における地域活動について』
認定特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

- 14:25～ 休憩
- 14:30～ 小規模多機能自治推進ネットワーク会議について現状共有
事務局：雲南市板持周治氏
- 14:40～ 意見交換：参加者による情報交換
課題毎でグループに分かれて、各参加自治体の取り組み内容の情報共有を行い、
課題整理と解決に向けた意見交換
- 15:15～ グループ発表による情報共有
- 15:30～ 質疑応答
- 15:45 閉会

6-8. 地域共生社会の実現に向けた各テーマごとの中間支援機能との連携

地域共生を担う「東近江市社会福祉協議会」や「東近江市国際交流協会」「街かどケアネットしが」「東近江三方よし基金」と連携をし、多文化共生のまちづくりを考える。市全体として、多文化共生のまちづくりを考えることが必要だということが言われた。

第7章 その他市民活動の促進に関する自主業務

市民活動・地域活動の促進し、市民と行政の協働の推進を図るため、受託者が必要かつ有効と考える事業を自主的に企画、実施する。

7-1. 講演・講座依頼

(1) 様々な講座を行う

市内や市街からの講演や講座の依頼があり、講座や講演を行う

①ファシリテーター講座

日時：2021年8月4日（水）18：00～21：00

場所：東近江市役所

内容：地域担当職員向けに会議の進め方

②中間支援研究会

日時：2021年12月23日（木）10：00～12：00

場所：Zoom

内容：東近江市での資金調達の支援の内容について

（SIB、事業指定寄付制度等）

③ふらっとサロンLINE 中級講座

日時：2022年3月11日（金）13：30～16：00

場所：淡海ネットワークセンター

内容：スマホの使い方講座

④ひととまちの未来をつくるカレッジ

日時：2022年3月16日（水）10：00～12：00

場所：市民総合交流センター（キラリエ草津）

内容：広報誌の作り方

7-2. まちづくり協議会への支援

まちづくり協議会から様々な支援依頼が増え、福祉第2層会議の冊子作りや、その他の冊子の作成依頼や、オンライン支援などが増えた。

(1) オンライン支援は講座で掲載

(2) 地域福祉第二層協議体冊子作成

中野地区まちづくり協議会

市辺地区まちづくり協議会

八日市地区まちづくり協議会

建部地区まちづくり協議会

(3) 蒲生地区まちづくり協議会

永源寺地区まちづくり協議会

会計及び労務の相談

7-3. 視察受入れ

まちづくりネット東近江の活動や、市内の活動を紹介し案内をした。

2021年11月5日・6日 生活クラブ神奈川 15名

計 1件

7-4. 東近江たびいち事業

（一社）東近江市観光協会と東近江市観光物産課と協働で行う事業。東近江市での体験型のコンテンツを募集し、観光客に提供する仕組み。まちづくりネット東近江では、コンテンツの造成を担当する。2回のワークショップを行い、個別での相談も行う中で、それぞれのコンテンツを深めていく。また、開催後の反省会を行う。

(1) ワークショップの開催

日時：2021年6月22日（火）18：00～

2021年7月13日(火) 15:00~

会場：東近江市役所 東庁舎 A 会議室

7-5. 休眠預金助成金採択事業

(1) 地域のあゆみを止めない支援拡充事業

オンラインや SNS の活用などの事業に関しては、とてもニーズがあり、地域の活動が進まない状況下の中で、新たなツールのおかげで話し合いを止めることがなかったり、交流が進んだり、イベントを開催できたりできた。何かしたいと考えている人たちが何もできないことが地域のあゆみが止まることになる。その部分には、アプローチをかけることができた。しかし、多文化共生のまちづくりに関しては、思った以上に深刻な課題が蓄積されている。例えば、外国籍の方の就労の問題では、非正規雇用の方が多く、コロナ禍のような状況になると雇止めや休業を言われることが多い。また、子ども達の学習の支援の課題、病院等の通院時の言語が通じないことによる意思の疎通ができない等、生活の中で多岐にわたった課題が蓄積されている。このようなことを解決するためにも、地域の中で連携するネットワークを広げ、地域の一人一人が考えてもらうきっかけを作りだし、困っている人に対してアプローチする人を増やしていくことが必要だと思う。

事業期間：2020年10月~2021年9月

事業費：6,553,387円(53,387円自主財源より)

事業報告会：2021年10月28日(木) 19:00~

2) 多文化共生のまちづくりの第一歩

◎World Tour in 東近江~インターナショナルフェスティバル~の実行委員会の開催

実行委員(12名)に集まっていただき、多文化共生フェスの開催を検討する。

内容を検討してきたが、コロナ禍の中で、リアルでの開催を断念。オンラインでの開催に変更する。(9月末)

2021年12月24日(金) 10:00~YouTubeで配信

同時開催

外国籍の方が経営している飲食店を回るスタンプラリーを実施

2021年12月24日(金)~2022年1月31日(月)

◎いろいろな国の人があつまるサロン

全6回開催

◎多文化共生に取り組む組織の方針が決定されている。

まちづくりネット東近江で、協議体をつくり、今後の多文化共生のまちづくりに向けて、どんな事業が必要か、体制、資金などを検討している。

<今後の展開について>

課題はあるが、外国人の方への支援は急務である。しかし、既存の団体や組織だけでは対応しきれない部分がある。特に就労の問題、コミュニティの問題など、暮らしに関わ

る課題が多いことや人数だけでなく、在住期間も増え、課題も多様化し、複雑化してきている。それらを解決するためには、多くの方に外国籍の方の困りごとを知ってもらい、言葉のことや文化のことを理解しながら、共にまちをつくる一員として接してもらい必要がある。そのためには、お互いにコミュニケーションを図ることができるツール（やさしい日本語、翻訳ツールなど）や、様々な国の文化や風習を伝える啓発活動を行い、多文化共生のまちづくりにつなげていく。

事業期間：2021年5月～2022年2月

事業費：3,000,000円

◆事業報告会

収録して、編集し、後日YouTubeで配信

2022年3月18日（金）14：00～15：30

場所：まちづくりネット東近江

セッション1



コーディネーター

公益財団法人東近江市三方よし基金 プログラムオフィサー 山口美知子

パネラー：

一般社団法人八日市まちづくり公社（ポストコロナに向けた中心市街地活性化事業）

一般社団法人がもう夢工房（旧岡村邸フリースペース「ガリ版楽校」）

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江（多文化共生のまちづくりに向けての第一歩）

一般社団法人マミーズ（ママや子どもの為のレンタルフリースペース）

第8章 評価と課題

8-1. 評価と課題

評価と課題

今年度は、これまでの事業を改めて見直しながら、地域の現状に合わせて内容を考えることができた。事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」は、昨今の市内の状況を鑑みて内容を大幅に変更し、どの団体もいつでも寄付集めを行う機会をつくることのできるようにした。寄付を集めて活動を行いたい団体と、事業を寄付で応援していた人のマッチングができていないのではないかと考える。寄付を集めることは、難しいことではあるが、活動を伝えるためにも、大きな意味があり、活動の応援団となってもらうためにも必要なことだと感じる。地域の課題を話し合う場である「まちのわ会議」の開催も増えてきた。まちのわ会議に参加することで、改めて地域の活動を知ってもらう機会になったり、そこで出会った協働につながったりすることがある。今後もまちのわ会議の内容を検討している東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会と連携しながら、地域での話し合いの場をデザインしていきたいと考える。

また、昨年から続く、コロナ禍の中で、オンラインでの配信や動画制作など、新たな需要もでてきている。今年度は、新たな需要が増え自主事業も増えた。社会の情勢を鑑みながら、事業に生かしていくことが大切だと改めて感じた。

これからのまちづくりには、創造性（イノベーション）が重要である。そのためには、様々な価値観や思いを持つ人と話をし、自分達自身の感度も高めていくことが大切になってくる。多角的に物事を見つつ、今の地域にあった支援を考えていけたらと思う。